

HENRIK VON SCHEEL

Strategist; Originator of the “4th Industrial Revolution” and Digital Theme of Today

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- Economics
- Future
- Management
- Strategist
- Technology

第4次産業革命と今日のデジタル テーマの創始者 (ゴッドファーザー) として最もよく知られています。

ヘンリックは、今日のビジネスにおける主流の考え方と実践を進化させた戦略家、未来学者、講演者です。

彼の研究は24か国以上の経済に適用されGDP成長に影響を与え、世界的なテーマを引き起こし、フォーチュン 500 社の 23% を占める最も急成長している企業の業績を形作ってきました。

ヘンリックはアーサー・ロック・ジャック・グローバル・スクール・オブ・ビジネスの教授です。

2009年、ヘンリック・フォン・シェール教授とアウグスト・ヴィルヘルム・シェーア教授は、今日のグローバル デジタルというテーマに火をつけました。連邦経済技術大臣の諮問委員会の一員として、両教授はドイツの将来のデジタル戦略を定義する上で重要な役割を果たしました。

「デジタル アジェンダ」は、2010年に欧州委員会によって「欧州デジタル アジェンダ 2020」として採択され、欧州デジタル革命へと発展しました。「デジタル アジェンダ」は、欧州の7つの主要課題の1つでありGDPの5%を占め、年間の市場価値は6,600億ユーロに上ります。「デジタル アジェンダ」は、今日の世界的なデジタル テーマへと発展しました。

2011年、フォン・シェール教授は、第4次産業革命の立役者および推進者の一人として、「第4次産業革命」という言葉を作り出した。

連邦教育研究省の諮問グループのメンバーとして、ヘンリック・フォン・シェール教授、アウグスト・ヴィルヘルム・シェーア教授、ヘニング・カガーマン教授は、ドイツのハイテク戦略を定義する任務を負いました。

最終的な「インダストリー 4.0」は、省庁間のイノベーション政策イニシアチブとして2013年4月に発表されました。フォン・シェール教授は、インダストリー 4.0は77のメガトレンドによって推進され、8つの進化段階で出現すると発表しました。